

防災講話（3 学年）

1 題材名

「第 22 普通科の概要及び震災 144 日間の活動と現在の取組」

2 講師

陸上自衛隊多賀城駐屯地 第 22 普通科連隊第 3 課 防災担当 安齋智広氏

3 日時

7月19日（火） 5・6校時

4 対象

3 学年生徒，職員，保護者

5 ねらい

3・11の地震のとき，同じ宮城県内の別の地域では，何が起きどんな状態だったのか風化させることなく記憶に残す。



6 内容

東日本大震災で救護活動や復旧活動に携わった自衛隊の方から当時の様子を聞き，災害時の心構えや事前の準備について考えた。また，責任をもって仕事をするとはどういうことなのかを考えた。50分の講話の後，30分間でパネルディスカッションを行い，質疑応答を繰り返すことで生徒の考えを深めていった。



自衛隊の活躍や葛藤についてお話しく
だきました。



生徒はメモをとりながら聴きました。



パネルディスカッションでは，仕事に対す
る責任感について話題が出されました。



救護に使用する道具類を見学しました。